

- 問1 北条泰時が制定した「御成敗式目」の内容や特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 江戸幕府が諸大名を統制し、城の修築などを制限するために制定した。 | 2. 室町幕府が政治の基本方針を示すために、足利尊氏が制定した。 | 3. 朝廷が定めた律令を重んじ、公家社会の法を武士に強制した。 | 4. 源頼朝以来の先例や、武士社会の慣習をもとにして作られた。 |
|-------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
- 問2 13世紀後半、モンゴル帝国(元)が二度にわたって日本へ侵攻してきた「元寇」の際、鎌倉幕府の最高責任者として、九州の御家人らへ軍役の指示を出し、京都や鎌倉の警備を指揮した人物は誰ですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|--------|---------|
| 1. フビライ・ハン | 2. 北条泰時 | 3. 源頼朝 | 4. 北条時宗 |
|------------|---------|--------|---------|
- 問3 12世紀から13世紀にかけての政治的な出来事とその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 平清盛が太政大臣となり、武士として初めて政治の実権を握ったが、後に源氏に敗れた。 | 2. 後鳥羽上皇が承久の乱を起こして幕府を倒したことで、貴族の政治が復活した。 | 3. 平清盛は藤原道長と協力して、摂関政治の仕組みを武士の時代にも継続させた。 | 4. 承久の乱の後に設置された六波羅探題によって、朝廷の権限が大幅に強化された。 |
|---|---|---|--|
- 問4 13世紀初めに、それまで分立していたモンゴル高原の諸部族を統合してモンゴル帝国を建国し、中央アジアまでを支配する広大な帝国の基礎を築いた初代皇帝は誰ですか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|------------|------------|----------|
| 1. 始皇帝 | 2. チンギス=ハン | 3. フビライ=ハン | 4. コロンブス |
|--------|------------|------------|----------|
- 問5 曹洞宗の開祖である道元は、場所を選ばず「ひたすら座禅をすることである」と説きました。このような鎌倉新仏教の特徴と、普及の背景について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--------------------------------------|
| 1. 修行には膨大な費用と時間が必要であったため、富裕な商人の間でのみ流行した。 | 2. 生活の場や時間を問わずに行える修行法を提示し、民衆の生活に寄り添った。 | 3. 伝統を重視し、奈良時代からの古い教義をさらに複雑化したことで支持を得た。 | 4. 祈祷によって病気を治すといった、貴族向けの現世利益のみを追求した。 |
|--|--|---|--------------------------------------|
- 問6 13世紀後半、モンゴル帝国の一部である「元」による二度の襲来(元寇)を受けた日本と、その後の元との関係について述べた記録として、歴史的な事実に基づいた正しい内容はどれか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 日本は元の支配下に入り、長安を都とする帝国の一州として組み込まれたことで、日本の伝統的な武士社会は崩壊した。 | 2. 元の侵攻を退けた日本は、それ以降、中国大陸との一切の交流を断ち切り、ヨーロッパ諸国との大西洋貿易に専念した。 | 3. 二度の襲来によって軍事的な緊張は高まったが、その後も民間レベルでの商人の往来は続き、貿易や文化の交流は維持された。 | 4. 元は日本との和平の条件としてキリスト教の布教を要求したため、これを受け入れた日本にポルトガルの宣教師が多数来日した。 |
|---|---|--|---|
- 問7 鎌倉幕府が、御家人の義務として「京都の警備」を重視した背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 朝廷のある京都の治安を維持し、幕府の警察権を誇示することで、朝廷に対する支配力を強めるため | 2. 室町時代に発達した商業や手工業を保護し、京都を通る物資から通行税(関銭)を徴収するため | 3. 分割相続によって領地が細分化された御家人に対し、京都での新たな領地を与える機会を作るため | 4. 御家人を定期的に京都へ交代で赴かせることで、経済的な負担を与えて反乱の芽を摘むため |
|--|--|---|--|
- 問8 鎌倉時代に描かれた定期市の様子を伝える資料には、多くの人々が集まる市のなかで、踊りながら念仏を唱えて布教活動を行う僧侶の姿が見られます。この人物が、民衆の救済を目指して開いた宗派の名称を答えなさい。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|-------|
| 1. 浄土真宗 | 2. 臨済宗 | 3. 浄土宗 | 4. 時宗 |
|---------|--------|--------|-------|
- 問9 1232年、鎌倉幕府の3代執権である北条泰時が、日本で最初の武家法を制定しました。この法令を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| 1. 土地をめぐる争いなどに対し、武士の慣習に基づいた公平な裁判の基準を定めるため | 2. 足利尊氏が新しい政治の方針を示し、京都の公家社会のルールを武士に強制するため | 3. 聖徳太子が役人の心得を示したように、仏教の教えを政治の基本に据えるため | 4. 江戸幕府が全国の大名を統制し、許可なく城を修繕することを禁止するため |
|---|---|--|---------------------------------------|
- 問10 鎌倉時代、幕府を支える御家人の生活が困窮し、徳政令が出される背景となった社会的な要因について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 幕府が御家人に対して全国一律の重い税を課したことで、農村経営が行き詰まった。 | 2. 一人の嫡子にすべての領地を相続させる仕組みが普及し、一族内の対立が激化した。 | 3. 領地を子に分割して相続させたことで、代を重ねるごとに一人あたりの領地が小さくなった。 | 4. 貨幣経済が浸透したことで、農村での年貢の取り立てを厳しくせざるを得なくなった。 |
|---|---|---|--|
- 問11 鎌倉時代において、将軍と御家人の間には土地を媒介とした主従関係が築かれました。このうち、将軍が御家人のこれまでの領地を保証したり、手柄を立てた者に新たな領地を与えたりする行為を何と呼びますか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 奉公 | 2. 安堵 | 3. 寄進 | 4. 御恩 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問12 鎌倉幕府が国ごとに設置し、国内の武士を統制するために軍事・警察的な役割を担わせた役職として正しいものを次の中から選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1. 地頭 | 2. 国司 | 3. 検非違使 | 4. 守護 |
|-------|-------|---------|-------|
- 問13 鎌倉時代において、北条氏が就いた「執権」という役職の役割と、承久の乱の後に設置された「六波羅探題」の目的を組み合わせた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 地方の守護を監視する役職として全国を巡察し、京都では幕府から独立した朝廷の司法を支えるために六波羅探題を運用した。 | 2. 軍事の最高責任者として全国の武士を指揮し、京都では大陸からの侵攻に備える拠点として六波羅探題を運用した。 | 3. 将軍の補佐役として幕政を統轄し、京都では朝廷の監視と西国の統制を目的として六波羅探題を運用した。 | 4. 朝廷から派遣された貴族として幕政を監督し、京都では西国から徴収した税を管理するために六波羅探題を運用した。 |
|--|---|---|--|